
大山崎町総合計画策定のための 「住民ワークショップ」 報告書 (概要)

目次

1. ワークショップの趣旨・実施概要等	1
(1) ワークショップの趣旨	1
(2) 実施概要	1
(3) 実施形式	1
2. ワークショップの実施結果（概要）	2
(1) 選択された分野	2
(2) 発表された施策概要（抜粋）	2

1. ワークショップの趣旨・実施概要等

(1) ワークショップの趣旨

大山崎町第4次総合計画後期基本計画の策定にあたり、大山崎町の“今”の課題や今後のまちづくりの在り方に関する住民視点による意見を抽出することで、計画素案の作成段階の検討材料として活用するとともに、住民のまちづくりへの関心や参加の意識を高めることを目的に、2日にわたって住民ワークショップを実施しました。

(2) 実施概要

	日時	出席人数	場所
第1回	令和2年11月8日(日) 10:00~12:00	12名 (住民10名、職員2名)	大山崎町立中央公民館
第2回	令和2年11月11日(水) 10:00~12:00	8名 (住民6名、職員2名)	別館3階大会議室

(3) 実施形式

1人につき1つのまちのまちづくりを行うという設定のゲーム型のワークショップ。

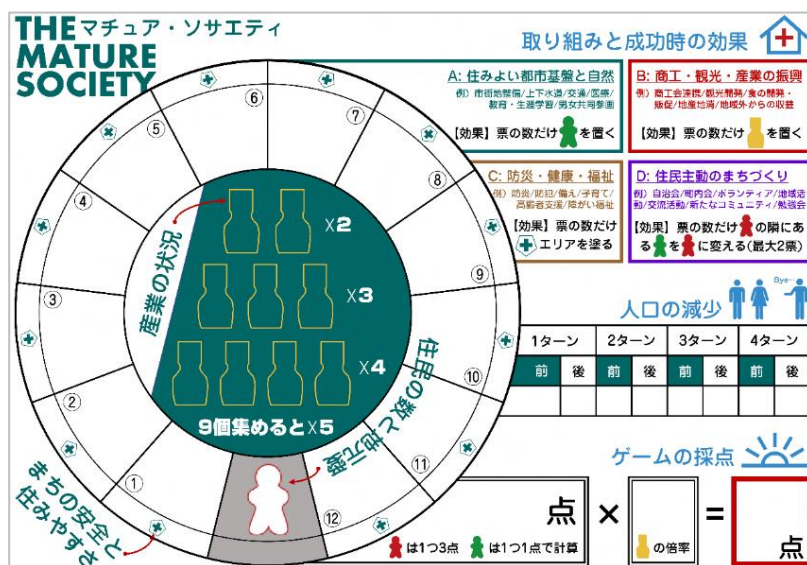
4人1グループを形成し、各人が4つのまちづくりの分野から1つを選択し、取り組みたい施策を考案して紙に書き起こし、グループのメンバーに対してどのような施策なのか発表(プレゼン)を行います。発表した施策についてグループ内で投票を行い、得られた票数の分の点数をもらうことができます。これを3ターン行い、最終的にグループ内で一番点数が高かった人が優勝となります。

また、ゲーム終了後には、現在の大山崎町が抱える問題とはどのようなものがあるかといったことや、発表された施策の資料をもとに、実現できそうなものについて話し合います。

■4つのまちづくりの分野

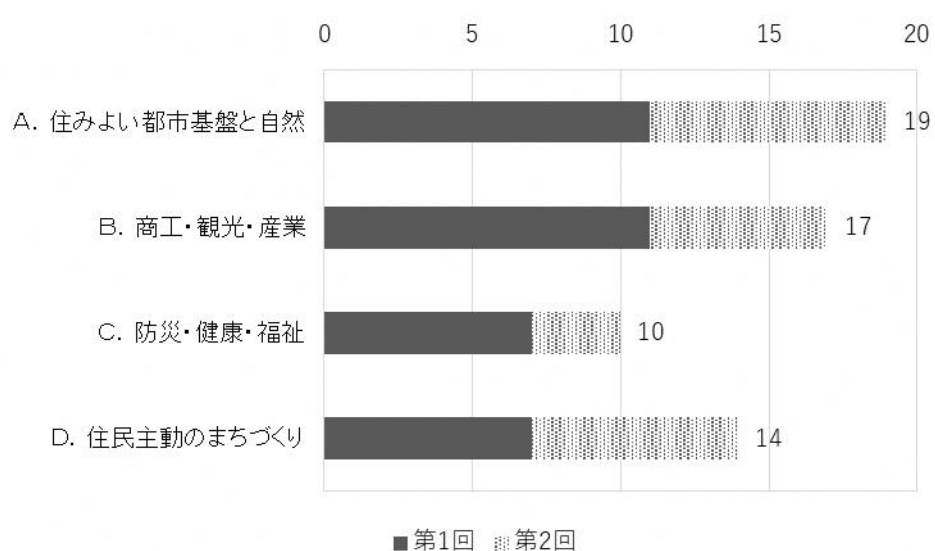
- A. 住み良い都市基盤と自然
- B. 商工・観光・産業
- C. 防災・健康・福祉
- D. 住民主導のまちづくり

ゲームシート



2. ワークショップの実施結果（概要）

（1）選択された分野



（2）発表された施策概要（抜粋）

A. 住みよい都市基盤と自然

デジタル化の推進

- ・子どもへのタブレット整備、オンライン教育の推進
- ・マイナンバーカードやスマートフォンの活用による簡易手続き
- ・インターネットの活用（子どもの学習の様子や議会の様子をインターネット公開するなど）

施設の充実・整備

- ・図書館（新規開設、移動図書館）
- ・医療設備の充実

市街地整備

- ・道路の安全整備（町南側駅前の道路通行の安全確保、役場北方の道路東側に歩道設置等）
- ・宅地開発（UR 住宅公団等）
- ・街並みの整備による都市価値の向上

B. 商工・観光・産業

商工業の振興

- ・「食」の祭典の開催（給食との関連事業、農業体験を兼ねたイベント等）
- ・商店の活性化やショッピングセンターの誘致
- ・空き家等の利用していない場所の有効活用（賃借、商店の展開、別荘化等）
- ・歴史遺産、名所のPR
- ・シェア〇〇、レンタ〇〇の推進（シェアサイクル、乗り合いタクシー等）

天王山の活用

- ・歩道の整備、トイレの設置、道の駅の整備
- ・歴史文化財としての有効活用、山崎城の復活

C. 防災・健康・福祉

防災・防犯

- ・水害、土砂災害対策（住民参画による天王山整備）
- ・コミュニティ活動の充実、活性化（地域リーダーの創出）

健康・福祉

- ・健康スタンプラリーの実施（天王山を活用した健康促進）
- ・万歩計機能を利用し、ポイント制による金券の発行

D. 住民主動のまちづくり

コミュニティ活動の活性化

- ・自治会主体の地域づくり（清掃活動やイベント等）
- ・新たなコミュニティの形成や交流の場づくりとその支援
- ・昔ながらの行事の復活（地藏盆、町まつり等）
- ・新たなボランティア制度の構築（子どもサポーター制度等）